

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H23.9.30現在)

	9月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	2件	29件	0人	8人
平成22年度(昨年度)	8件	41件	1人	16人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

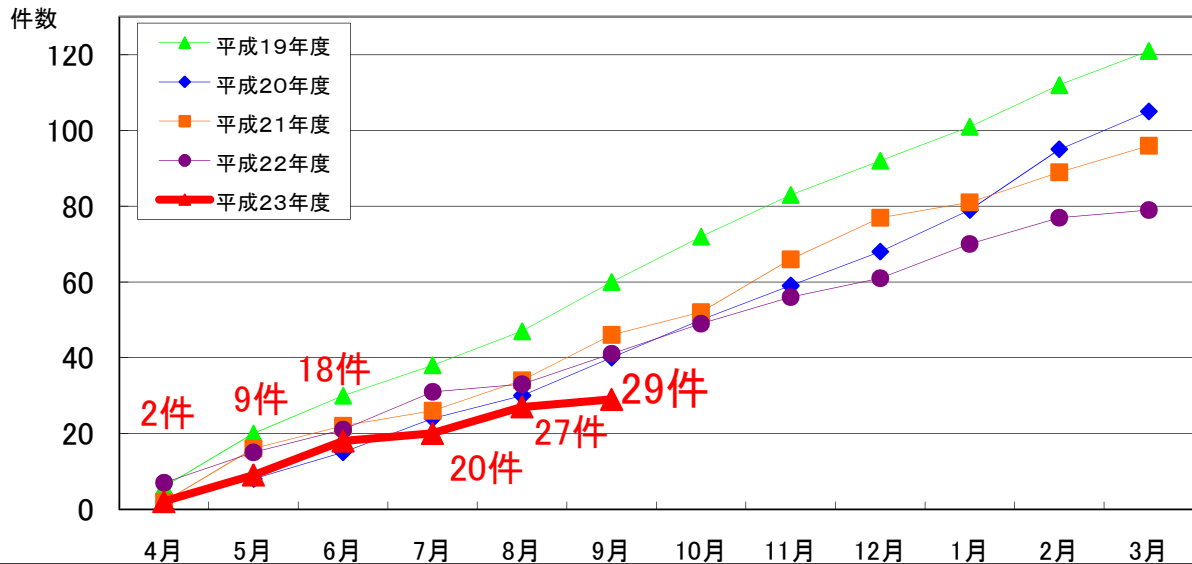
注2) 「9月発生件数」は、9/1～9/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～9/30の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～9/30の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数

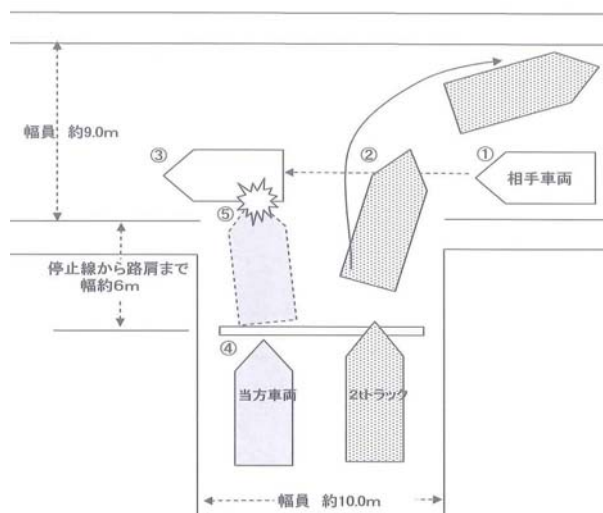
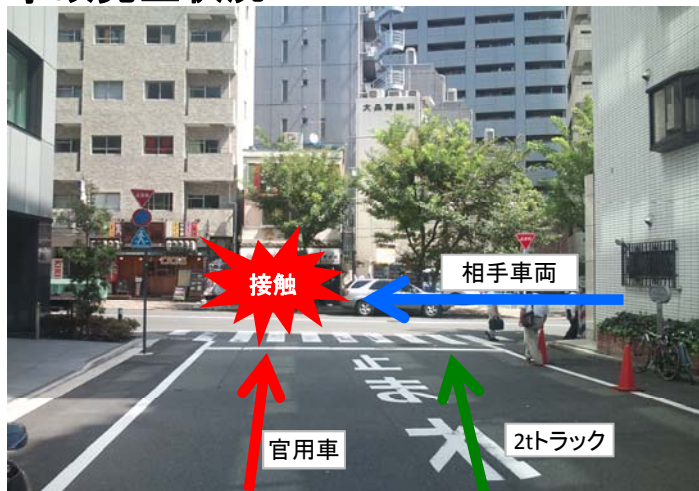


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計	6件	20件	30件	38件	47件	60件	72件	83件	92件	101件	112件	121件
(月毎)	(6件)	(14件)	(10件)	(8件)	(9件)	(13件)	(12件)	(11件)	(9件)	(9件)	(11件)	(9件)
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	79件	95件	105件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(11件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	2件	16件	22件	26件	34件	46件	52件	66件	77件	81件	89件	96件
(月毎)	(2件)	(14件)	(6件)	(4件)	(8件)	(12件)	(6件)	(14件)	(11件)	(4件)	(8件)	(7件)
平成22年度 累計	7件	15件	21件	31件	33件	41件	49件	56件	61件	70件	77件	79件
(月毎)	(7件)	(8件)	(6件)	(10件)	(2件)	(8件)	(8件)	(7件)	(5件)	(9件)	(7件)	(2件)
平成23年度 累計	2件	9件	18件	20件	27件	29件						
(月毎)	(2件)	(7件)	(9件)	(2件)	(7件)	(2件)						

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 23 年 9 月 13 日 (火)			9 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	相手方車両・官用車損傷		
事故概要	交差点を左折しようとしたところ、右から来た一般車両と接触し、車両を損傷させたもの。					
公衆損害事故－第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



- ・当方車両は、左折しようとして一時停止をした。(④)
- ・相手車両が右方向から左方向に移動しようとした(①→③)
- ・隣車線の2tトラックが右折したため(②)、相手車両が見えなかった。
- ・当方車両が左折するため前進したが(④→⑤)、右側を見落としていたため、相手車両と接触したもの。



相手車両損傷状況



官用車損傷状況

【事故発生原因】

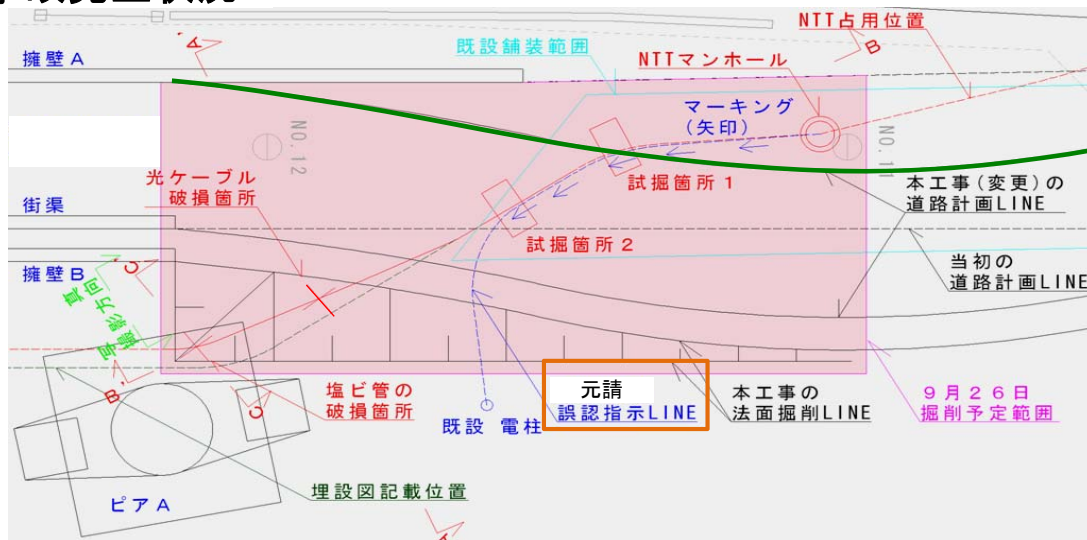
- ・運転手の右前方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・死角がある場合は、無理な運転をせず、周囲の確認ができてから走行するよう指導すること。 など

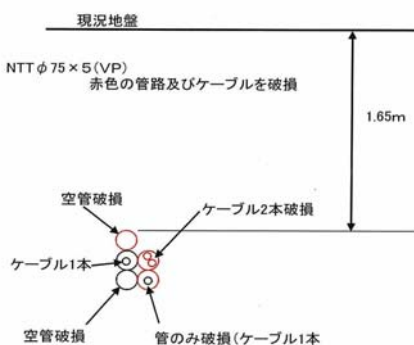
発生日時	平成 23 年 9 月 26 日 (月) 9 時 40 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 As舗装工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT管・ケーブル損傷	
事故概要	掘削中、バックホウにてNTT管とケーブルを損傷させたもの。				
公衆損害事故-地下埋設物件損傷					

事故発生状況



- ・事前にNTTと立会いを行っていた。
- ・その後計画に変更があり、掘削範囲が拡大。
- ・当初計画の掘削範囲のままで埋設管位置を指示→損傷

断面図



【事故発生原因】

- ・掘削範囲を変更した際に、埋設物に関する情報を再度確認しなかったため。
- ・埋設物に関する情報が現場内で共有されていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・作業内容に変更が生じた場合は、作業箇所について再度確認すること。
- ・埋設物に関する情報を作業員に対して周知・徹底する。 など